

# 縮んでゆく諏訪圏域の人口

諏訪圏域6市町村の人口は6年間で7,000人弱減少しました。ピークは2001年の212,358人でしばらくは微増微減の横ばい状態でしたが、2004年の211,830人を境に2010年の国勢調査速報値の204,946人へと急激な減少傾向へと転じました。日本全体の人口もピーク時を過ぎましたが、諏訪圏域ではいち早く急速な人口規模の縮小が始まったといえます。これによって、商工業を始めとする諸分野に様々な問題がおこるだろうと予想され、それへの対処が求められます。

岡谷市の人口のピークは1980年の62,210人でしたが、これまでに約10,000人減少しました。2003年に市長は「人口増加策」を市の主要施策として2008年の60,000人を目標に取り組んできましたが、減少傾向をくいとめることができていません。諏訪市は微増微減できましたが、この5年間で約2,000人という6市町村では最も大きい減少がありました。唯一大幅な増加をしてきた茅野市もこの5年間で一転して約600人の減少になりました。この5年間では原村が唯一119人微増しただけで、3町村全体としては減少傾向が一段と強まっています。

